

昭和58年3月20日

会 員 各 位 殿

つつじが丘自治会
会長

第8回定時総会開催のお知らせ

吹く風にも春を感じるこの頃、会員各位におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

当自治会も、昨年度より新たに50世帯の新会員を迎え、活気ある明るい街づくりに果たす役割りも益々大きくなってきているといえましょう。

つきましては、第8回定時総会を、下記のように開催することとなりましたので万障お繰り合せの上、御出席載きますよう御案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和58年4月3日(日) 午前9時30分～正午まで
2. 場 所 鶴沼西町公民館2階広間
3. 議 題 (1) 57年度会務報告及び承認の件
(2) 57年度会計報告及び承認の件
(3) 58年度予算案の審議及び承認の件
(4) 役員(会長、副会長、会計監査)改選の件
(5) そ の 他

なお、準備の都合上、出欠の別を次頁出欠票にご記入の上、3月27日までに各班長さんにご提出下さい。

また、当日やむを得ず欠席される方は、委任状も合せて班長さんまでご提出下さい。

昭和57年度 自治会会務報告

八木山の山頂より眺める、私達の街は、まだまだ空地が多く目立ちます。しかし、年々、80～100戸の新世帯を迎え、58年度内には過半数を越す状況となりました。

「新しい街」「新しいふるさと」作りを中心とした7年目の自治会活動も、これまでの積み重ねと、会員、班長、役員の協力のもとに大過なくすすめてくる事ができたといえます。

今年度は、

- | | |
|-------------------|---------|
| 交通事故を中心とする災害の防止対策 | (防災委員会) |
| 住環境の整備 | (環境委員会) |
| 会員間の親睦 | (文体委員会) |

を基軸にして、昨年度から始められた、各広報区ごとの活動の定着を目標に運動がすすめられてきました。

具体的な内容については、後述されますが、これらの活動を通じて、一定の成果と同時に、今後の課題も生まれてきているといえます。

第一には、自治会活動の原点ともいえる、災害防止対策、住環境の整備等への行政面での現実的な対処を実現させる活動です。

この点では、特に「校下」仲間の松ヶ丘広報会との共同歩調は、不可分であり、更には、近隣の「新興団地」との協調も作りだして行く必要が出てくるでしょう。

また、住民自身が、ただ行政にまかせるのみでなく、自ら行動に責任を持つ必要性も痛感されます。

第二には、種々多彩になった団地内の活動の結びつきを、どう合理的にすすめるかということです。

広報区と子供会で行った、夏まつりのみこし作り、文体委員会とソフト、バレーボール同好会との球技大会、園芸同好会との市民展の開催、環境委員会と老人会の公園清掃分担、各行事への婦人会の応援、等々、本年度は、各団体との連携の基盤が作られてきていますが、役員会、班長会議等を通じて、更に改

善、検討が必要です。

第三には、広がる活動の中心の場となっている集会所の管理、活用の問題です。現在の集会所の使用状況は、回数では、年間約330回（昨年230回）使用の内容によっては相当な手狭を感じる状況となっています。

3年前に建設された集会所の増築問題に具体的な検討がせまられてきているといえましょう。

新年度は、これらの課題に対して、団地内で解決する点、行政面での援助を得て行う点、「校下」近隣との協力で行う点を考え合せ、改善をすすめ、ひきつづき「心が一つの街」づくりを目指していきたいと思えます。

会員の皆様には、自らの組織としての自覚を一段と強めて頂き、自治会活動への積極的な協力をお願いし、会務報告とします。

専門委員会報告

(広報委員会)

広報委員会より会務の報告を致します。

昭和57年度広報委員会は、広報活動を通じて、住民の協調、豊かな街づくりに全力をそそいだ年でありました。

つつじが丘団地は「新興団地」が故に、経済的にも、時間的にも十分な「ゆとり」がなく、お互いが助け合い協力しあって豊かな街を作る事は、非常に難しい面もあり、ややもすると無関心、無気力になりがちであります。

しかし、私達の責任は、心豊かな街をつくり、思い出深い「ふるさと」を子孫に残す事にあります。その為に各広報会がその独自性を生かし、いろいろな行事を通じて住民の融和と協調に全力をあげました。

特に毎月開かれる班長会議では、住民の出来るだけ多くの人々の意見を聞き、一人一人の声なき声を聞くのに努めました。

各区の広報会活動も活発で、例えば第一広報会では、映画会、のど自慢大会等を通じて住民参加を呼びかけ、第二広報会では、ドッチボール大会、宝さがし大会で住民の融和と協調を呼びかけました。第三広報会では、モチツキ大会を行い、子供会との連携のもとに100余名の参加者を得て、お互いの親睦を深めました。第四広報会では、団地の玄関にふさわしいノリ面に大量のツツジを植え、第五広報会では未来の「ふじ祭り」を夢みて公園にふじ棚を作りました。

以上の様に、少しずつではありますが、各種の行事を通じて住民の協調性は高まっています。これから、さらに豊かな街づくりは続きますが、それと同時に行政面への参加、団地周辺町村との積極的な連携が必要の様に思われます。

「全員参加による心豊かで思いやりのある街をつくろう」

(環境委員会)

団地内生活環境の保全、向上の為、目新しい事は出来ませんでした。例年通り各種作業に取り組みました。

まず、最初の仕事となったのが、不快害虫ヒメヤスデ、ムカデの大量発生の

予防でした。5月に不快害虫駆除の薬剤を幹施し、各家庭にて散布していただきまた、春季団地内大掃除の実施、不在地主の空地草刈の実施により、さいわい今年もこれら不快害虫の大量発生をみることなく夏をこすことができました。

団地内清掃に関しては、例年通り春秋2回の大掃除を実施し、側溝の清掃、土手の草刈り等を行いました。また、今年から老人会にも公園清掃に参加していただくこととしました。(上池公園西側部分)

不在地主の空地の草刈りは、当団地にまだ空地が多い事から大きな問題となっておりますが、今年度は従来の石川農園発注をやめ、団地内の草刈り会に発注する事としました。これにより、不在地主の負担軽減(1区画1回¥15,000 - ¥10,000)による草刈り発注区画の増加、業者への発注業務の簡素化、草刈り時期の適正化等の成果をあげることができました。

しかし、今年度の方式は、自治会サイドから見ると有利なものであった反面、行楽シーズンの休みが連続してつぶれる等、草刈り会々員の負担が大きく、新年度は草刈り方式の見直しも必要と考えられます。

例年、苦情、トラブルの多発する犬のフン、ゴミの処理については、5月に会員各位に注意を喚起する意味で回覧を回しましたが、年末になり、やはり色々苦情が発生するようになり、再度、注意文を回覧する事となりました。

この問題は、会員各自の自覚以外に根本的な対策はないので、より一層の注意をお願いしたいと思います。

団地内緑化に関しては、環境委員会として統一した取り組みが出来ず、各広報会バラバラに実施という事になってしまった事を深く反省しております。

最後に皆様方の御協力により、私共素人の環境委員がなんとか一年をしのぐ事ができた事を深く感謝して報告を終らせていただきます。

(防 災 委 員 会)

5 7 年 8 月 2 9 日 に 鶴 沼 中 学 校 グ ラ ン ド で 実 施 さ れ た 各 務 原 市 防 災 訓 練 は、諸 機 関 の 訓 練 活 動 に 加 え、住 民 に よ る 避 難、消 火 器 消 火、バ ケ ッ リ レ ー、消 防 ポ ン プ 操 作 訓 練、等 を 織 込 ん だ 大 が かり な も の で あ っ た。

こ れ は、地 域 防 災 訓 練 の 一 つ の ひ な 型 で あ る わ け で、当 自 治 会 と し て も、非 常 時 に 有 効 に 生 か せ る よ う に、春、秋 の 防 災 訓 練 を 内 容 あ る も の に し て 行 き た い と 考 え ま す。

今 年 度 は 5 月 9 日 に 春 の 総 合 防 災 訓 練 を、1 1 月 1 4 日、2 1 日 に 各 広 報 会 毎 の 秋 の 防 火 訓 練 を 行 い ま し た。

春 の 総 合 訓 練 で は、防 護 団 組 織 に かな っ た 活 動 が 展 開 で き る よ う ス ケ ジ ュ ー ル を 組 み、将 来 は、前 述 の 市 の 防 災 訓 練 の よ う な 形 に し た い と 考 え ま す。ま た、秋 の 訓 練 は 前 年 度 か ら、な る べ く 多 く の 方 々 に 実 際 に 消 火 器 あ る い は、消 火 ホ ー ス を 操 作 し て い た だ く た め に 各 広 報 会 ご と で 実 施 す る 様 に し て お り、両 訓 練 と も 多 数 の 参 加 者 を 得 て、有 意 義 で あ っ た と 感 謝 し て い ま す。

ま た、今 年 度 よ り、西 町 消 防 団 と 提 携 し、当 団 地 内 の 消 火 お よ び 火 災 予 防 活 動 に つ い て 協 力 願 う こ と に な り ま し た。「イ ザ 鎌 倉」とい う 時 の 備 え が 強 化 で き た と 考 え ま す。

当 団 地 は、設 立 以 来、一 度 も 住 宅 火 災 の な い の が 自 慢 の 一 つ で す が、こ れ も 皆 様 一 人 一 人 の 安 全 意 識 の 高 さ の お か げ で す。今 後 共「火 の 用 心」に つ と め、ま ず、火 を 出 さ な い よ う お 願 い し ま す。

さ て、前 年 よ り 懸 案 の 交 通 安 全 対 策 に つ い て は、団 地 内 の 危 険 箇 所 を チェ ッ ク し、追 越 し 禁 止、停 止 線、カ ー ブ ミ ラ ー 等 の 対 策 を 織 込 ん だ 要 望 書 を 7 月 に 各 務 原 市 長 に 提 出 し、今 後 の 努 力 を 約 束 し て い た だ き ま し た。

一 方、団 地 内 の 啓 も う 活 動 と し て 子 供 を 対 象 と し た 映 画 会 を 開 催 (1 1 月) し ま し た。残 念 乍 ら、実 施 に は 到 り ま せ ン で し た が、子 供 会 と の 共 催 に よ る 交 通 安 全 教 室 な ど、団 地 内 の 安 全 に は、今 後 共、前 向 き に 取 り 組 ん で い き た い と 考 え ま す。

皆 様 方 の 御 理 解、御 協 力 を お 願 い し ま す。

(文 体 委 員 会)

会員の皆様の積極的な行事への参画が実を結び、本年度は少し趣向を変えた行事を実施することができました。

春には、ソフト、バレーボール大会、夏には盆踊り、秋には「八木山校下大運動会」、そして、初めての試みとして「市民展」を行いました。

春のソフト、バレーボール大会は就任後間もない、4月18日(日)に実施、不慣れな点もありましたが、男性がソフトボール、女性がバレーボールと、参加者300余名を得て、プロ顔負けのファインプレー等が続出し、日頃の運動不足の解消にも一役買った1日になりました。

夏の恒例の「盆踊り大会」は今年で6回目を数え、7月31日(土)8月1日(日)に整地の終わったばかりの中央公園で行い、第1日目700余名の参加者は夏の一夜を踊りに映画に大変楽しむことが出来たと思います。各広報区ごとの夜店では、金魚すくい、輪なげ、昔なじみのバナナの叩き売り等まで飛出し、踊りの輪に一層の華やかさが加えられました。第2日目は、台風接近の雨の為、残念乍ら中止になり、心待ちしていた各広報区ごとの仮装大会等が流れてしまう結果となりました。

秋の「八木山校下大運動会」は10月10日(日)体育の日の秋晴れの八木山小学校で行われ、松ヶ丘、つつじが丘両自治会の綿密な打ち合せに依り、今年は自由参加の種目を増やし、会員の皆様が1人でも多く参加出来る様、配慮しました結果、1000名を越す参加者があり大成功と終わりました。

11月に入って、6日(土)、7日(日)の両日に初めての試みとして「つつじが丘市民展」を行いました。会場入口には、園芸同好会の菊が見事に花を咲かせ、会場の中には、婦人会の手芸品を初め、会員の皆様の貴重な1点1点の作品が出品され、その数も130点余りに昇り、見学者も300余名を集める事が出来ましたことは、会員皆様の絶大なる協力の賜ものと思います。

以上の行事を振り返り、いくつかの反省点もありましたが、ほぼ満点の行く活動が出来たものと思います。

前年度からの申し送りでもありました同好会の育成では、6月20日に民謡同好会を発足させる事が出来ましたが、今後もっと沢山の同好会を育成し、会員の皆様が何かの同好会に参加し、地域住民間の信頼強化を更に進めて行きたいものです。

最後に私共素人の文体委員が滞ることなく、任務を遂行出来ましたことは、会員皆様の深いご理解とご協力のお陰と深く感謝しております。

今後一層のご参加、ご協力をお願いしまして報告とさせていただきます。

〈 57年度 活動概況 〉

4月	第7回定時総会 (4日) 球技大会 (18日) (ソフト、バレーボール)	10月	八木山校下大運動会 (10日) ふじ棚作り (第5広報)
5月	総合防災訓練 (9日)	11月	つつじが丘市民展 (6.7日) 宝さがし、ドッチボール大会(第2広報) 市民清掃の日 (14日) 防災訓練、団地内清掃 (各広報) つつじ50本植樹 (第4広報)
6月	春季団地内清掃 (各広報) 民謡同好会発足 (20日) つつじ50本植樹 (第4広報)	12月	交通安全映画会 (11月14日) 餅つき大会 (第3広報) 植樹 (各広報)
7月	市民清掃の日 (11日) 夏まつり (第1広報) 八木山夏まつり (25日) 盆踊り (31日)	1月	クロス、カントリー (9日) 街路灯増設
8月	各務原市防災訓練 (29日)	2月	消火器増設
9月	新班長オリエンテーリング (18日)	3月	総会準備

昭和 5 7 年度 会計 報告 書

(基金の部)

科 目	金 額	備 考
昭和56年度基金残高	10,425,713	昭和57年3月10日現在
昭和57年度増加分	400,000	
合 計	10,825,713	昭和58年2月28日現在

(積立の部)

科 目	金 額	備 考
集会所増築準備金	200,000	昭和56年度分
集会所増築準備金	100,000	昭和57年度分
緊急災害時準備金	200,000	昭和56年度分
緊急災害時準備金	200,000	昭和57年度分
記念行事積立金	100,000	昭和57年度分
合 計	800,000	大垣共立銀行鶴沼支店

(収入の部)

科 目	当初見込額	収 入 額	備 考
前年度繰越金	876,257	876,257	
自治会費	3,120,000	3,067,500	@500×6,135戸
自治会入会金	80,000	37,000	@1000×37戸
自治会基金利息	600,000	621,888	金銭信託の利息
広報会長報酬	222,000	216,450	
広報紙配布手数料	486,000	469,350	
公園清掃報酬	220,000	279,000	
雑 収 入	72,800	98,937	利息、祝儀他
(草 刈)	-	130,000	
合 計	5,688,958	5,796,382	

(支出の部)

科 目	予 算 額	支 出 額	備 考
自治会総会費	50,000	31,980	総会資料他
街路灯電気料金	830,000	958,605	電気代、修理代
事務局関係費	780,000	787,710	
事 務 費	80,000	100,510	事務用品代
交通通信費	50,000	35,100	二種会員通信費他

科 目	予 算 額	支 出 額	備 考
備品購入費	500,000	507,000	クーラー他
予備費	150,000	145,100	会議費
集会所運営費	650,000	293,041	光熱費電話代他
広報活動費	826,000	800,000	各広報会活動費
環境対策費	465,000	347,680	
清掃対策費	74,000	51,430	ゴミ袋他
清掃用具費	171,000	79,250	草刈費修理他
緑化対策費	220,000	217,000	植樹
防災対策費	280,000	192,984	
防災行事費	30,000	7,110	
交通安全対策費	50,000	11,874	
消火器具備品費	200,000	174,000	消火器具
文化体育費	600,000	562,178	
盆踊り費用	300,000	197,680	飲物
運動会費用	250,000	205,597	賞品他
春季体育大会	50,000	47,762	
市民展費用	—	111,139	
各種団体助成金	420,000	430,000	子供会老人会婦人会他
地域社会交際費	150,000	162,380	青少年育成会議他
集会所増築準備金	100,000	100,000	定期預金
緊急災害時準備金	200,000	200,000	定期預金
シンボル建設準備金	100,000	100,000	定期預金
予備費	232,958	53,364	防犯協力会費他
合 計	5,683,958	5,019,922	

57年度収支残高

収入総額	支出総額	58年度繰越
5,796,382	5,019,922	776,480

以上、昭和57年度決算報告に誤りのないことを証明いたします。

会計監査



会計監査



昭和58年度 予 算 (案)

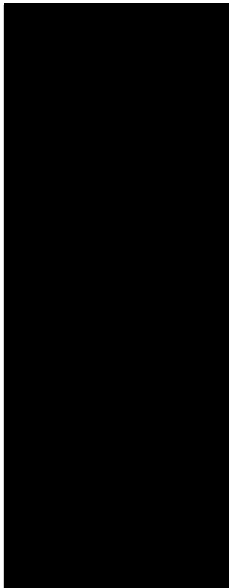
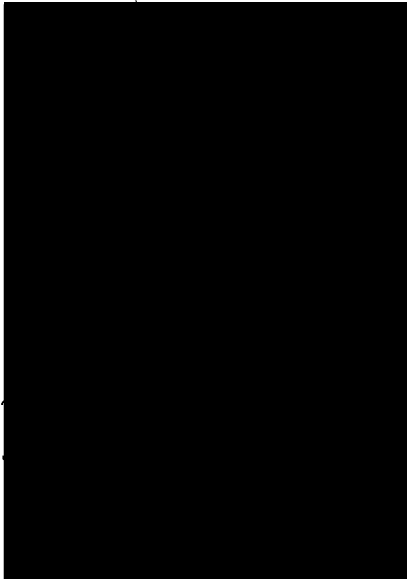

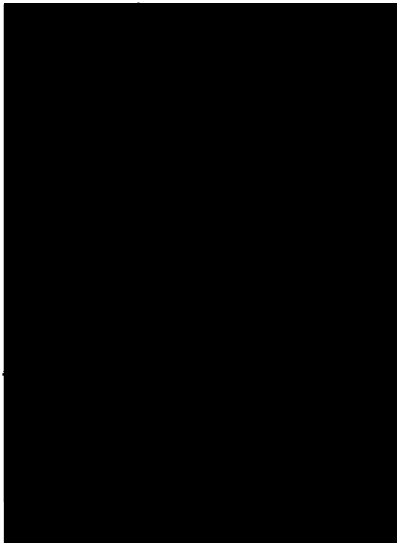
(収入の部)


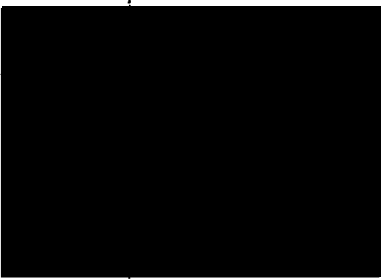
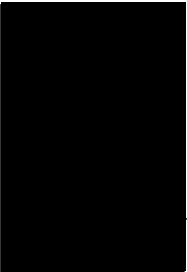

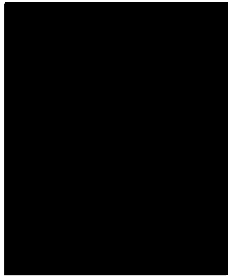
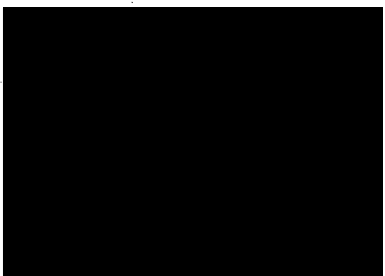

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	776,480	
自治会費	3,480,000	@500円×580戸×12ヶ月
自治会入会金	80,000	80戸増(@1000円×80戸)
自治会基金利息	620,000	三井信託銀行 金銭信託より
広報会長報酬	240,000	均等割 12,000円×5 = 60,000円 世帯割 150×580戸 = 87,000円 " 150×620戸 = 93,000円
広報紙配布手数料	540,000	450円×580戸 261,000円 450円×620戸 279,000円
公園清掃報酬	279,000	
雑収入	80,600	130円×620戸 80,600円
合 計	6,096,080	

(支出の部)

科 目	金 額	備 考
自治会総会費	50,000	総会資料
街路灯電気料金	950,000	街路灯電気料金、補修費
事務局関係費	550,000	印刷、事務用品、会議費他 二種会員通信、交通費 テント一張り他
事務費	100,000	
交通通信費	50,000	
備品購入費	300,000	
予備費	100,000	
集会所運営費	250,000	光熱費、TEL他
広報活動費	1,059,000	各広報区活動費
環境対策費	502,000	ゴミ袋(大掃除、公園清掃用)他 各公園清掃用具入れ設置 植樹、肥料
清掃対策費	74,000	
清掃用具費	328,000	
緑化対策費	100,000	
防災対策費	430,000	西町消防団賛助金 消火栓2基増設
防災行事費	180,000	
交通安全対策費	50,000	
消火器具備品費	200,000	
文化体育費	700,000	春一球技大会、秋一市民展
盆踊り費用	300,000	
運動会費用	250,000	
年間行事費	150,000	
各種団体助成金	400,000	寿会、婦人会、子供会、青少年育成会
地域社会交際費	100,000	
集会所増築準備金	500,000	
緊急災害時準備金	200,000	
記念行事準備金	100,000	
予備費	305,080	
合 計	6,096,080	

58年度自治会役員名簿

職務	氏名	住所	TEL
会長 副会長 会計監査 “ 総務委員 “ “ 会計委員 “ 書記委員		2丁目 3 “ 3 “ 4 “ 6 “ 3 “ 5 “ 7 “ 4 “ 5 “	
広報会長 (1) 副 “ (1) 広報会長 (2) 副 “ (2) 広報会長 (3) 副 “ (3) 広報会長 (4) 副 “ (4) 広報会長 (5) 副 “ (5)		1 “ 1 “ 3 “ 3 “ 4 “ 4 “ 8 “ 5 “ 7 “ 6 “	

職務	氏名	住所	TEL
環境委員 (1) " (2) " (3) " (4) " (5)		2丁目 3 " 4 " 5 " 7 "	
防災委員 (1) " (2) " (3) " (4) " (5)		1 " 3 " 4 " 5 " 7 "	
文体委員 (1) " (2) " (3) " (4) " (5)		2 " 3 " 4 " 5 " 6 "	
青少年育成委員 体育振興委員 寿会 会長 評人会 会長 子球会 副会長		5 " 2 " 1 " 4 " 3 "	